● 本校の課題と課題解決に向けて

研究主題

主体的によりよく生きようとする力を育む道徳教育

～ふるさとを基盤とし，道徳科の趣旨を踏まえた指導と評価の工夫を通して～

１．本校の課題

本校の実態	本校の課題
「自分にはよいところがあると思う」と肯定的に回答した生徒の割合	自己肯定感が低い
密接に関係している	
「自分のよさが，まわりの人から認められていると思う」と肯定的に回答した生徒の割合	
「授業では，友達と話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりしている」と肯定的に回答した生徒の割合	生徒の意見を引き出し互いの良さや違いを認め合う授業づくりが不十分
大きなギャップ	
「『道徳の授業』では児童生徒が友達と話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりするような指導をしている」と肯定的に回答した教職員の割合	

○生徒が他者から認められたり，ほめられたりする体験が不十分であった。

○道徳の時間における協働的な学習活動が，ワークシートの記述を読み合うだけの活動にとどまっている実態があった。

⇩

学校組織をあげて授業改善に取り組み，課題の克服を図ることが必要であった。

２．課題解決に向けて

本校の課題	課題解決に向けて
自己肯定感が低い	ふるさとを基盤とした教育活動と道徳の授業を関連させ，郷土を愛し，主体的によりよく生きようとする態度を育てる
生徒の意見を引き出し互いの良さや違いを認め合う授業づくりが不十分	道徳の時間における指導と評価の工夫を行い，生徒の意見を引き出し，互いの良さを認め合う授業づくりを行う

○ ふるさと教材を充実させ，郷土を愛する気持ちや，よりよく生きようとするための道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

○ カリキュラム・マネジメントにより，道徳の時間と総合的な学習の時間を中心とする教科等との関連を強化する。

○ 小・中学校・地域で行う教育活動との密接な関連を図り，生徒に自信や達成感を持たせ，自己肯定感や自己有用感を向上させる。

【道徳の時間における**指導と評価の工夫**】

① かかわり合う場の指導を充実させ，**自己を見つめ，多面的・多角的に考えさせる授業づくり・授業改善**を進める。

② 道徳の時間における**生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握する工夫**を行い，**日々の指導や個々の生徒へのフィードバックに生かし，学校全体で互いの良さを認め合う**風土をつくる。

③ 教職員が生徒一人一人の人間的な成長を見取り，生徒自身の自己のよりよい生き方を求めていく努力を評価できるようにするために，**評価に係る研修**を充実させる。